

第4学年社会科学学習指導案

日時 平成26年11月 7日(金) 公開授業Ⅱ

対象 4年4組 男21名 女18名 計39名

指導者 細田 公子

1 単元名 県のさまざまな地いきの様子 「葛巻町の人たちの暮らし」

2 単元の目標

第3学年及び第4学年目標

(2) 地域の地理的環境、人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにし、地域社会に対する誇りと愛情を育てるようにする。

(3) 地域における社会的事象を観察、調査するとともに、地図や各種の具体的事象を効果的に活用し、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てようとする。

葛巻町では、まちの気候や地形などの自然環境を保護・活用しながら酪農を中心とした特色あるまちづくりを進めていることを理解するとともに、地図や各種の具体的資料を効果的に活用して調べて、葛巻町のまちづくりの特色や、自然環境と酪農業の関連について考え、適切に表現することができるようにする。

3 単元の評価規準

観点	B：おおむね満足できる
社会的事象への関心・意欲・態度	・葛巻町の人々の生活の様子に関心をもち、意欲的に調べることを通して、葛巻町のよさや特色を考えようとしている。
社会的な思考・判断・表現	・葛巻町で酪農がさかんな理由を自然環境や人々の努力と関連付けて考え、表現している。 ・葛巻町に観光客が多く訪れる理由を、自然環境や産業と関連付けて考え、表現している。
観察・資料活用の能力	・葛巻町で酪農を盛んにするための取り組みについて、牧場の方の話をもとに読み取っている。 ・葛巻町が行っているクリーンエネルギーの取り組みについて、写真資料や町の人話から、読み取っている。
社会的事象についての知識・理解	・葛巻町の土地や気候の特色を理解している。 ・葛巻町は自然環境を保護・活用しながら、酪農を中心とした特色あるまちづくりを進めていることを理解している。

4 単元について

(1) 児童について

児童は、グラフや地図、写真などの資料を読み取ったり、施設見学で学んだことを新聞にまとめたりする学習に意欲的に取り組んでいる。振り返りの場面では、学んだこと、自分の変容、友達の良い点を視点として表現することができるようになってきている。

前単元の学習において、岩手県の全体の地形や交通、産業の概要について、地図帳や副読本で

調べたり、調べたことを白地図にまとめたりする学習に取り組んでいる。これらの学習を通して、県内にいろいろな地域があることや、県の土地の様子や交通の広がり、産業の様子にはそれぞれかわりがあること、県の産業や人々のくらしの様子は地形や気候等の自然条件とかかわり合っていること等に気付いてきている。

そこで本単元では、自分たちが住んでいる滝沢市の地形的な条件と比べながら、葛巻町の地形を生かして、人々がどのようなくらしやまちづくりを行っているか追究する力を育てたい。

(2) 教材について

前単元「わたしたちの岩手県」の学習において、岩手県の土地の様子や交通網の広がり、産業の様子について調べ、県全体の様子や特徴を学ぶ。この学習を受けて本単元「県のさまざまな地いきのくらし」で自然環境、伝統や文化などの地域の資源を保護・活用している地域やそこに見られる人々の生活を調べ、その特色を考える学習を行う。

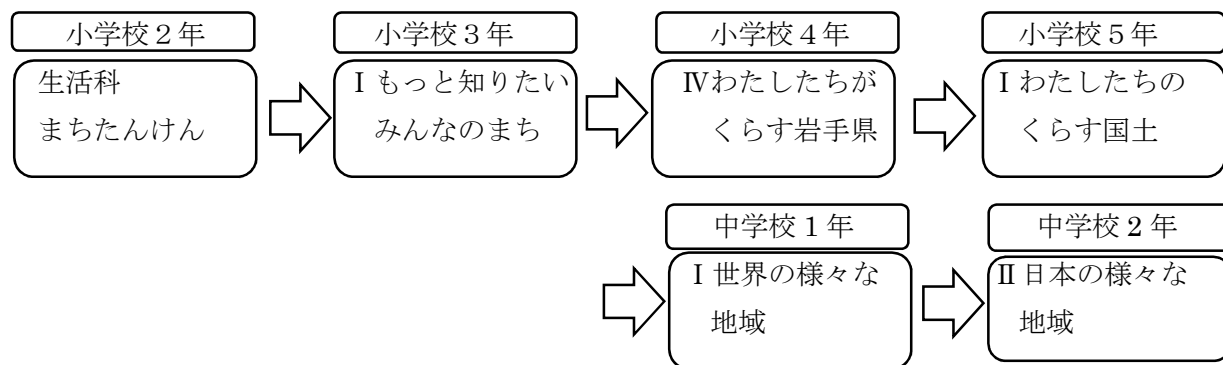
本教材で扱う、葛巻町は、森林などの豊かな自然環境を保護・活用しながら、酪農を中心とした特色あるまちづくりを進めている地域である。このことから、地域社会の社会的事象の特色や相互の関連などについて考えたり調べたりしていくのに適した教材であると考ええる。

(3) 指導について

単元の導入では、葛巻町の写真やパンフレット、特産品から葛巻町の様子や人々の暮らしについて予想させ、予想をもとにしながら地形、気候、産業、まちづくり等の学習で追究していく内容や調べ方等について明らかにしていきたい。また、主な産業である酪農について、さらに、特産品やクリーンエネルギーを中心としたまちづくりについて学習問題を設定し、一単位時間一解決型の追究活動を行っていきたい。

グラフや写真等の資料から分かったことや気付いたことをペアや全体で話し合い、根拠のある考えをもつことができるようにしたい。授業の振り返りの場面では、本時の学習で分かったこと、友達の考え方の良さに触れた振り返りができるようにさせたい。

5 単元の系統と他教科との関連



6 単元の指導計画（8時間扱い）

- (1) 諸資料から葛巻町について関心をもち、単元の課題を設定する。 1時間
- (2) 葛巻町の土地の様子や気候の様子を調べ、その特色を理解する。 1時間
- (3) 葛巻町で酪農がさかんな理由について、自然条件と関連付けてとらえる。 1時間（本時）
- (4) 葛巻町の特産品を生かした町づくりの様子についてとらえる。 1時間
- (5) 葛巻町でクリーンエネルギーの取り組みが盛んに行われている理由について、自然条件や産業、人々の願いと結び付けて考える。 1時間

(6) 葛巻町に観光客が訪れる理由について、特色ある町づくりと関連付けて考える。 1時間

(7) 単元に対する結論をまとめ、新聞を作る。 2時間

7 本時について

(1) 目標

葛巻町で酪農が盛んな理由を自然環境や人々の努力と関連付けて考えることができる。

＜社会的な思考・判断・表現＞

(2) 「自分の考えをもつ^自」「互いの考えを交流する^交」「互いの考えのよさに気づく^気」場面

本時の「自分の考えをもつ」場面では、予想を立てるときに、これまでの学習をもとにしながら酪農が盛んになってきた理由を考え、ノートに書かせる。また、学習のまとめを本時で調べたことをもとに自分の言葉でまとめ、ノートに書かせる。

次に、「互いの考えを交流する」場面では、予想や調べ方、調べて分かったことを発表し合い、同じところや違うところ認識し合いながら、酪農が盛んになってきた理由を考える。

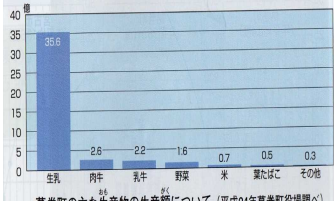
そして、「互いの考えのよさに気づく」場面では、振り返りの視点で、本時学んだこと、自分の変容、友達のよさとしてノートにまとめさせ、意見を交流する。

(3) 展開

段階	学習活動	場面	○指導上の留意点●評価の観点（方法）
導入 10分	1 葛巻町の主な生産物の生産額についてのグラフを読み取り、分かったことや気付いたことを発表する。 2 学習課題を設定する。 なぜ、葛巻町では酪農がさかんなのだろう。		○指導上の留意点●評価の観点（方法） ○パンフレットやポスターを提示し、前時の学習を想起できるようにする。 ○グラフの表題、縦軸、横軸が表わすものを確認しながら読み取ることができるようにしたい。 ○葛巻町の主な生産物の生産額についてのグラフを提示し、生乳の生産量が多いことから、葛巻町は酪農が盛んであることを理解できるようにする。
展開	3 葛巻町で酪農が盛んになった理由について予想しノートに書き、発表し合う。 ・牧草地が広がっているから ・田があまりないから ・山が多いから 4 課題解決のために、調べる方法について話し合う。	^自 ^交	○根拠を明確にしながら発表させるようにする。 ●葛巻町の地形や気候、人々の働きとかわらせながら、酪農が盛んになってきた理由について考えることができたか。（ノート） ○どのようにしたら調べられるか話し合うことにより、調査活動への意欲をもてるようにする。

27分	<p>5 既習や資料をもとに、葛巻町で酪農がさかんになってきた理由について調べる。</p> <p>6 調べたことを交流し、学習課題の解決を図る。</p> <p>(1) 自然条件を生かしていること</p> <p>(2) 人々の努力や工夫があったこと</p>	<p>交</p> <p>○土地の様子やパンフレット等から酪農が盛んになってきた理由を調べることができるようにする。</p> <p>○葛巻高原の方の話から、涼しい気候が酪農に向いていることや、酪農を盛んにするために様々な努力や工夫をしていることを理解できるようにする。</p> <p>○山がちで涼しい気候が酪農に合っていることをとらえられるようにする。</p> <p>○乳牛の数の移り変わりのグラフや酪農体験をしている写真等から、自然条件だけでなく、人々の工夫や努力もあって酪農が盛んになったということもとらえられるようにする。</p>
終末8分	<p>7 本時の学習を振り返り、自分の考えをまとめ、発表し合う。</p> <p>(1) 学習課題について</p> <p>(2) 学習したことをもとに思ったり考えたりしたこと</p>	<p>自気</p> <p>○分かったこと、学習して思ったこと、考えたことをノートにまとめ発表できるようにする。</p> <p>●葛巻町で酪農が盛んになってきた理由について、まちの気候条件や地形、まちの人々の工夫や努力と関連付けながら本時のまとめを記述している。</p> <p>(ノート)</p>

(4) 板書計画



なぜ、葛巻町では酪農がさかんなのだろう。

予想

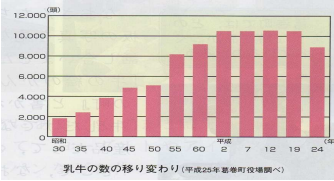
- ・牧草が広がっているから
- ・田があまりないから
- ・山が多いから

くずまき高原牧場の方の話

- ・らく農が自然の条件に合っている。
- 乳牛→暑さに弱く、寒さに強い
- 牧草→暑いとうまく育たない

東北一のらく農のまち

(例) 酪農が盛んなわけは、葛巻町の涼しい気候が、酪農に適しているから。また、まちの人たちが乳牛をふやす工夫や努力をしてきたから。



- ・森林や野原を切り開いた
- ・飼い方を工夫した
- ・計画的に協力して出荷するしくみ
- ・後つぎを育て取り組み
- ・らく農体験